

第 5 回 復 興 道 路 会 議 ～岩手県～

日 時：平成 27 年 6 月 1 日（月）

14：30～16：30

場 所：盛岡地区合同庁舎 8 階大会議室

議 事 次 第

1. 挨拶

国土交通省 東北地方整備局 道路部長

岩手県 県土整備部長

2. 議 事

1) 復興道路・復興支援道路の進捗確認について 資料 1～3

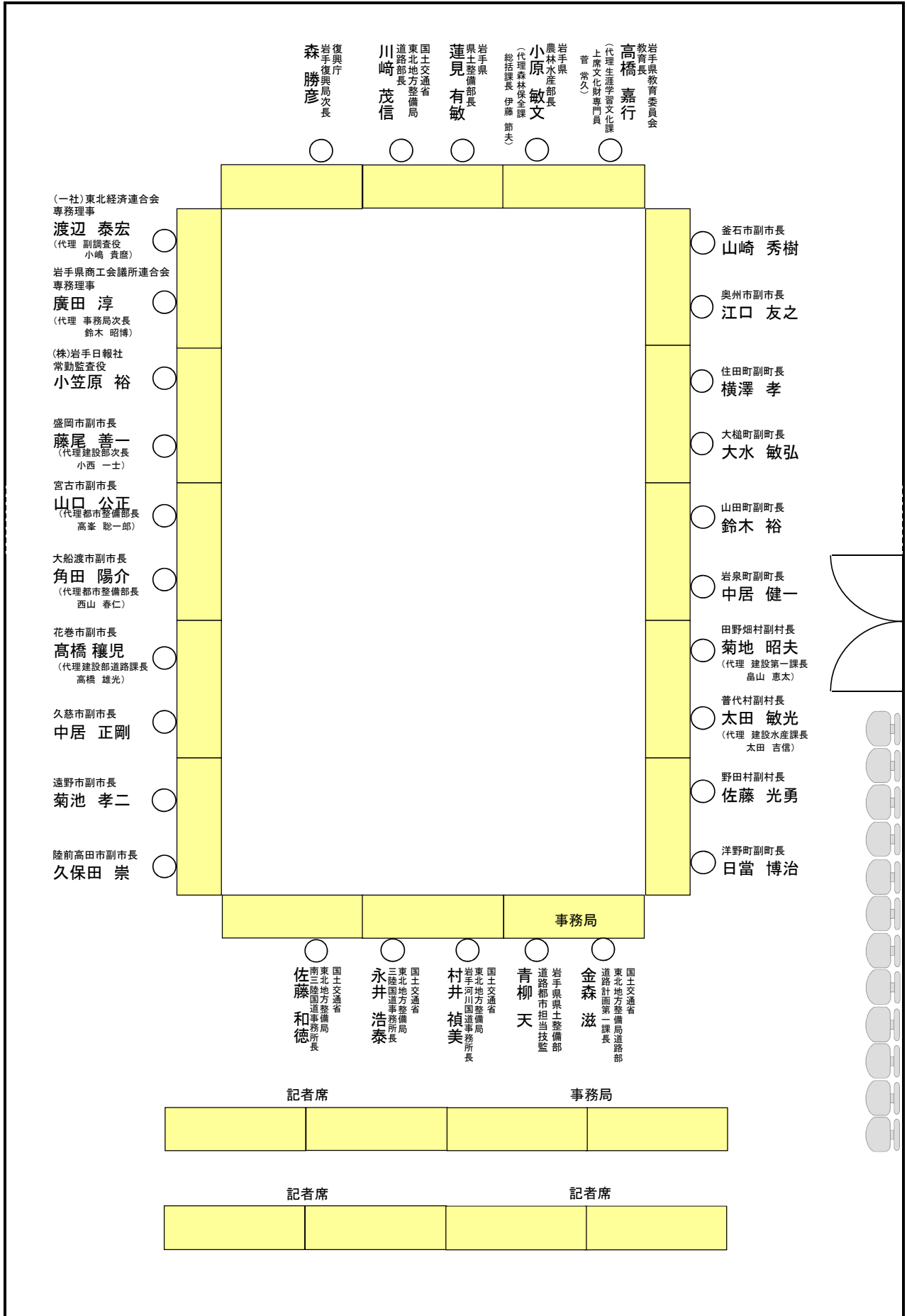
2) 事業進捗の「見える化」の取り組み状況の
情報共有と継続実施の確認について 資料 4～5

3) 復興道路等を活かした地域振興策、
地域づくり事例の情報共有について 資料 6～7

4) その他

「第5回復興道路会議～岩手県～」 配席図

盛岡地区合同庁舎 8階大会議室



「復興道路会議～岩手県～」

役 職 名	氏 名
岩手県県土整備部長	蓮見 有敏
岩手県農林水産部長	小原 敏文
岩手県教育委員会教育長	高橋 嘉行
盛岡市副市長	藤尾 善一
宮古市副市長	山口 公正
大船渡市副市長	角田 陽介
花巻市副市長	高橋 穰児
久慈市副市長	中居 正剛
遠野市副市長	菊池 孝二
陸前高田市副市長	久保田 崇
釜石市副市長	山崎 秀樹
奥州市副市長	江口 友之
住田町副町長	横澤 孝
大槌町副町長	大水 敏弘
山田町副町長	鈴木 裕
岩泉町副町長	中居 健一
田野畑村副村長	菊地 昭夫
普代村副村長	太田 敏光
野田村副村長	佐藤 光勇
洋野町副町長	日當 博治
一般社団法人東北経済連合会 専務理事	渡辺 泰宏
岩手県商工会議所連合会 専務理事	廣田 淳
岩手経済同友会 専務理事	鈴木 修
株式会社岩手日報社 常勤監査役	小笠原 裕
復興庁 岩手復興局次長	森 勝彦
国土交通省 東北地方整備局 道路部長	川崎 茂信
国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所長	村井 禎美
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所長	永井 浩泰
国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所長	佐藤 和徳

敬称略

復興道路会議～岩手県～

規約

(名称)

第1条 本会議は、「復興道路会議～岩手県～」と称する。

(目的)

第2条 本会議は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとなる復興道路等の早期完成を図るため、全ての関係者に対する事業進捗への合意形成と、国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決を目的として開催する。

(協議事項)

第3条 本会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる連絡及び調整を行う。

- 一 事業の合意形成に関する事項
- 二 事業促進の課題解決に関する事項
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な事項

(対象事業)

第4条 本会議で対象とする復興道路は、以下のとおりとする。

- 一 三陸沿岸道路
- 二 東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路
- 三 その他

(組織)

第5条 本会議は、以下の構成員をもって組織する。

- 一 岩手県、復興庁 岩手復興局
国土交通省 東北地方整備局
- 二 復興道路等の関係市町村
- 三 地域経済界及び報道関係代表

(事務局)

第6条 本会議の庶務は、岩手県県土整備部及び国土交通省東北地方整備局道路部において処理する。

(雑則)

第7条 この規約に定めるもののほか、本会議の運営に関して必要な事項は会議において定める。

資 料 一 覧

- 次第
- 第5回復興道路会議～岩手県～ 配席図
- 復興道路会議～岩手県～ 構成員
- 復興道路会議～岩手県～ 規約
- 復興道路・復興支援道路の概要
- 復興道路・復興支援道路（岩手県内）
- 資料－1 復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況
- 資料－2 各事業区間別進捗状況
- 資料－3 東北地方整備局の主な事業の進捗状況
- 資料－4 復興道路・復興支援道路の「見える化」
【国土交通省の取り組み事例】
- 資料－5 復興道路・復興支援道路の「見える化」
【岩手県の取り組み事例】
- 資料－6 事例発表【岩手県】
- 資料－7－1 事例発表【久慈市】
- 資料－7－2 事例発表【宮古市】
- 資料－7－3 事例発表【大槌町】
- 資料－7－4 事例発表【釜石市】
- 資料－7－5 事例発表【陸前高田市】

復興道路・復興支援道路の概要

H27.5.15現在

復興道路・復興支援道路の総延長584km
 [震災後新規区間236km(40%)]



三陸沿岸道路 359 km
 [震災後新規区間 148 km]

宮古盛岡横断道路 (宮古～盛岡) 100km
 [震災後新規区間 48km]

東北横断自動車道釜石秋田線 (釜石～花巻) 80km
 [震災後新規区間 17km]

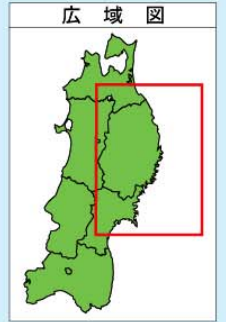
みやぎ県北高速幹線道路 24km
 [震災後新規区間 11km]
 (宮城県)

東北中央自動車道 (相馬～福島) 45km
 [震災後新規区間 23km]

路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	
			うち震災後開通	うち震災後新規
三陸沿岸道路	約 359km	152km	23km	207km
宮古盛岡横断道路	約 100km	8km	7km	58km
東北横断自動車道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	54km	24km	26km
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	0km	45km
計	約 584km	214km	54km	336km
みやぎ県北高速幹線道路	約 24km	9km	9km	11km
合計	約 608km	223km	63km	247km

岩手県内の概要

H27.5.15現在



三陸沿岸道路 359 km

(岩手県内 213 km)

- 震災後新規事業区間の新たな開通見通し(H27.5.15公表)
- 震災以前からの事業区間の新たな開通見通し(H27.5.15公表)
- 震災後新規事業区間の開通見通し(H26年度まで公表)
- 震災以前からの事業区間の開通見通し(H26年度まで公表)

- 凡例
- 供用中
 - 事業中
 - 調査中
 - H23補正新規箇所
 - 4車線化計画箇所



路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	
			うち 震災後開通	うち 震災後新規
三陸沿岸道路	約 359km	152km	23km	207km
うち、岩手県	約 213km	61km	13km	152km
宮古盛岡横断道路	約 100km	8km	7km	58km
うち、岩手県	約 100km	8km	7km	58km
東北横断自動車道(釜石～花巻)	約 80km	54km	24km	26km
うち、岩手県	約 80km	54km	24km	26km
東北中央道(相馬～福島)	約 45km	0km	0km	45km
合計	約 584km	214km	54km	336km
うち、岩手県	約 393km	123km	44km	236km

※開通見通しは、集中復興期間後(平成28年度以降)の復興関係予算の継続を前提に、標準的な工程を想定した場合の目安です。
「集中復興期間の総括及び平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方」の検討状況、予算状況及び施工上の条件変化等により変更がありますので留意ください。

宮城県

復興道路・復興支援道路の各道路別進捗状況（平成27年3月31日現在）

資料－1

《平成26年度の進捗状況》

- 復興道路・復興支援道路の**用地進捗率は約9割**、**主要構造物着手率は約6割**まで進捗
- 宮古盛岡横断道路 平津戸松草道路・区界道路がH26.8.24に着工し、**全区間で工事着手**
- 三陸沿岸道路専用の「**公共プラント**」が稼働開始（宮古地区：H26.8.31、釜石地区：H26.9.3）

路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	用地進捗率※1	工事着手率※2	主要構造物着手率※3	主要構造物完成率※4	トンネル掘削進捗率※5	橋の上部工着手率※6
三陸沿岸道路	約 359km	152km	207km	約80%	約90%	約55%	約25%	—	—
		152km	207km	約90%	約95%	約70%	約35%	約35%	約45%
宮古盛岡横断道路	約 100km※	8km	58km	約70%	約60%	約35%	約30%	—	—
		8km	58km	約90%	約75%	約40%	約30%	約10%	約40%
東北横断道釜石秋田線 （釜石～花巻）	約 80km	54km	26km	約90%	100%	約65%	約45%	—	—
		54km	26km	約95%	100%	約75%	約55%	約85%	約55%
東北中央道 （相馬～福島）	約 45km	0km	45km	約60%	約80%	約65%	約15%	—	—
		0km	45km	約85%	約90%	約65%	約25%	約55%	約50%
合計	約 584km	214km	336km	約80%	約90%	約55%	約25%	—	—
		214km	336km	約90%	約95%	約65%	約35%	約35%	約45%

※未事業化区間約34kmを含む

三陸沿岸道路(4車線化)	約 52km	11km	41km	100%	100%	100%	約75%	—	—
		32km	20km	100%	100%	100%	約90%	—	100%

【宮城県】 みやぎ県北高速幹線道路	約 24km	9km	11km	約70%	約45%	約65%	約65%	—	—
		9km	11km	約85%	約80%	約70%	約65%	—	約65%

※1: 用地進捗率 = 取得済面積 (ha) / 必要面積 (ha)
 ※2: 工事着手率 = 工事に着手したIC間延長 / 計画済延長
 ※3: 主要構造物着手率 = (着手済 + 完成済構造物数) / 全構造物数
 ※4: 主要構造物完成率 = 完成済構造物数 / 全構造物数
 ※5: トンネル掘削進捗率 = トンネル掘削延長 / トンネル計画延長
 ※6: 橋の上部工着手率 = (上部工着手済 + 完成済橋梁数) / 全橋梁数

【岩手県】各事業区間の進捗状況

(平成27年5月15日現在)

路線名	市町村名	事業区間名	延長	開通予定	用地進捗率 (面積ベース) ※1	埋蔵文化財 調査完了率 ※2	保安林解除	事業進捗上の課題
					上段:H26.3.31現在 下段:H27.3.31現在			
三陸沿岸道路								
洋野町	洋野階上道路 (待浜～階上)	23.0km (20.0km)	—	約40%	約50%	対象外	用地取得の推進	
				約67%	約60%			
久慈市	久慈北道路	7.4km	H30年度	約89%	約90%	対象外	用地取得の推進	
	久慈道路	3.2km	H5.12.16開通	約95%	100%			
野田村	野田久慈道路 (普代～久慈)	25.0km	—	約79%	約70%	6箇所/8箇所解除済	用地取得の推進	
				約92%	約80%			6箇所/8箇所解除済
普代村	普代道路(普代バイパス)	4.2km	H25.10.13開通					
	尾肝要普代道路 (尾肝要～普代)	8.0km	—	約69%	約80%	対象外	用地取得の推進	
田野畑村	尾肝要道路	4.5km	H26.3.2開通	約90%	100%			
	田野畑村	田野畑道路 (田野畑南～尾肝要)	6.0km	—	約91%	約97%	対象外	用地取得の推進
約96%		100%						
岩泉町	田老岩泉道路 (田老～岩泉)	6.0km	H29年度	約99%	約70%	対象外	用地取得の推進	
				約99%	100%			
宮古市	宮古田老道路 (宮古中央～田老)	21.0km	H32年度 (一部 H29年度)	約83%	約80%	対象外	用地取得の推進	
	宮古道路	4.8km	H22.3.21開通	約92%	約80%			
山田町	山田宮古道路 (山田～宮古南)	14.0km	H29年度	約88%	約50%	対象外	用地取得の推進	
	約96%	約60%						
山田町	山田道路	7.8km	H14.8.2開通					
	大槌町	釜石山田道路	23.0km	一部 H30年度	約80%	約70%	2箇所/2箇所解除済	用地取得の推進
約86%					約80%	2箇所/4箇所解除済 ※2箇所追加申請		
釜石市	吉浜釜石道路 (吉浜～釜石)	14.0km	H30年度	約85%	約60%	4箇所/5箇所解除済	用地取得の推進	
				約88%	約80%			5箇所/5箇所解除済
大船渡市	吉浜道路	3.6km	H27年度	100%	100%	対象外		
	約100%	100%						
大船渡市	大船渡三陸道路	17.6km	H17.3.19開通					
	高田道路	7.5km	H26.3.23開通					
陸前高田市	唐桑高田道路 (唐桑北～陸前高田)	10.0km (8.0km)	H30年度	約69%	約90%	1箇所/1箇所解除済	用地取得の推進	
				約99%	100%			1箇所/1箇所解除済
東北横断自動車道 釜石秋田線(釜石～花巻)								
釜石市	釜石道路 (釜石～釜石西)	6.0km	H30年度	約51%	100%	3箇所/5箇所解除済	用地取得の推進	
				約80%	100%			5箇所/5箇所解除済
遠野市	仙人峠道路	18.4km	H19.3.18開通					
	遠野道路 (遠野住田～遠野)	11.0km	H30年度	約97%	約90%	5箇所/6箇所解除済	用地取得の推進	
約97%	約95%	6箇所/6箇所解除済						
遠野市	遠野～宮守	9.0km	H27年度	約99%	100%	対象外	用地取得の推進	
	約99%	100%						
花巻市	宮守～東和	23.7km	H24.11.25開通					
	東和～花巻	11.4km	H14.11.7開通					
宮古盛岡横断道路								
宮古市	宮古西道路 ※岩手県施行	3.6km	—	約78%	約60%	対象外	用地取得の推進	
				約90%	約60%			
宮古市	宮古箱石道路 (宮古～箱石)	33.0km	一部 H31年度 一部 H32年度	約52%	100%	5箇所/9箇所解除済	用地取得の推進	
				約98%	100%			9箇所/9箇所解除済
宮古市	達曾部道路	1.4km	H11.12.16開通					
	平津戸松草道路 (平津戸・岩井～松草)	7.0km	—	約8%	100%	未申請	用地取得の推進	
約72%	100%	6箇所/6箇所申請済						
盛岡市	区界道路 (区界～築川)	8.0km	—	約31%	約98%	未申請	用地取得の推進	
				約73%	約99%			3箇所/3箇所申請済
盛岡市	築川道路	6.7km	H25.3.10開通					
	都南川目道路	6.0km	H31年度 (一部 H27年度)	約97%	100%	対象外	用地取得の推進	
約99%	100%							

※1: 用地進捗率=取得済面積(ha)÷必要面積(ha)
 ※2: 埋蔵文化財調査完了率=本調査完了面積(ha)÷調査対象面積(ha)

東北地方整備局の主な事業の進捗状況

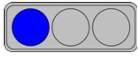
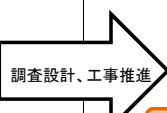


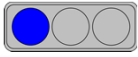
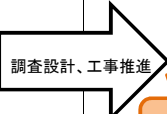



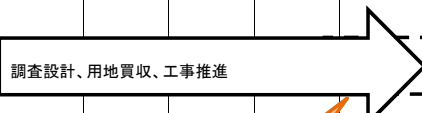


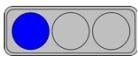
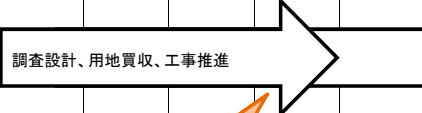
事業の透明性を向上させ、事業への理解を促進するための取り組みとして、東北地方整備局が進めている主な事業の進捗状況について、公表いたします。

－ 凡 例 －

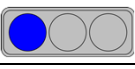
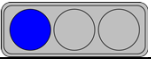



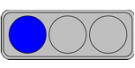
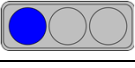
事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考	
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事 ・調査設計								
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事								進捗状況に課題が生じている、又は、生じる可能性がある場合
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事								進捗状況に遅れが生じており、完成時期が遅れる可能性がある場合
〇〇事業 	・用地買収 ・〇〇工事 ・調査設計	・〇〇工事								
〇〇事業 	・〇〇工事	・〇〇工事								課題解決の見通しがたっておらず、完成時期が不明の場合

	予定どおりに進捗しているもの
	今後の進捗における課題が生じている、または、生じる可能性があるもの
	課題への対応に伴い、事業進捗に遅れが生じており、完成時期が遅れる可能性があるもの
	課題解決に時間を要し、計画よりも完成時期が遅れる見込みであるもの
	課題解決の見通しがたっておらず、現時点では完成時期が不明であるもの

高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
1	岩手	東北横断自動車道 釜石秋田線 遠野～宮守 	・改良工事 ・舗装工事 ・調査設計	・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進 						・遠野IC～宮守IC L=9.0km(2/4) 平成27年度開通予定
2	宮城 岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (唐桑北～陸前高田) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・(仮称)唐桑北IC～陸前高田IC L=10.0km(2/2) 平成30年度開通予定
3	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (吉浜道路) 	・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進 						・(仮称)三陸IC ～(仮称)吉浜IC L=3.6km(2/2) 平成27年度開通予定
4	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (吉浜～釜石) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・(仮称)吉浜IC ～(仮称)釜石JCT L=14.0km(2/2) 平成30年度開通予定
5	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (釜石山田道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・(仮称)釜石JCT ～釜石両石IC L=5.6km(2/2) 平成30年度開通予定 ・釜石北IC ～(仮称)大槌IC L=4.8km(2/2) 着手後概ね10年程度を目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定 ・(仮称)大槌IC ～山田南IC L=8.0km(2/2) 平成30年度開通予定
6	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (山田～宮古南) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・山田IC～宮古南IC L=14.0km(2/2) 平成29年度開通予定
7	岩手	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (宮古中央～田老) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進 						・宮古中央IC ～(仮称)田老第2IC L=17.0km(2/2) 平成32年度開通予定 ・(仮称)田老第2IC～(仮称)田老北IC L=4.0km(2/2) 平成29年度開通予定

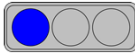
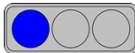



高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考	
8	岩手	一般国道45号 八戸・久慈自動車道 三陸沿岸道路 (久慈北道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	・用地買収 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進							・(仮称)待浜IC～久慈北IC L=7.4km(2/2) 平成30年度開通予定
9	岩手	一般国道283号 東北横断自動車道 釜石秋田線 釜石花巻道路 (釜石～釜石西) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進							・(仮称)釜石JCT～(仮称)釜石西IC L=6.0km(2/2) 平成30年度開通予定
10	岩手	一般国道283号 東北横断自動車道 釜石秋田線 釜石花巻道路 (遠野住田～遠野) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進							・遠野住田IC～遠野IC L=11.0km(2/2) 平成30年度開通予定
11	岩手	一般国道45号 三陸北縦貫道路 三陸沿岸道路 (田老～岩泉) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進							・(仮称)田老北IC ～岩泉龍泉洞IC L=6.0km(2/2) 平成29年度開通予定
12	岩手	一般国道106号 宮古盛岡横断道路 (宮古～箱石) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進							・宮古市藤原 ～(仮称)松山IC L=4.0km(2/4) 平成32年度開通予定 ・宮古市根市 ～宮古市箱石 L=27.0km(2/2) 着手後概ね10年程度を 目指すものの、完成に 向けた円滑な事業実施 環境が整った段階で 確定予定 ・宮古市下川井地区 L=2.0km(2/2) 平成31年度開通予定
13	岩手	一般国道106号 宮古盛岡横断道路 (都南川目道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	工事推進							・(仮称)川目IC ～(仮称)田の沢IC L=2.6km(2/2) 平成27年度開通予定 ・(仮称)田の沢IC ～(仮称)手代森IC L=3.4km(2/2) 平成31年度開通予定
14	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (仙塩道路) 	・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、工事推進							・仙台港北IC～利府中IC (仮称)多賀城IC含む) L=7.8km(4/4) 平成27年度開通予定

高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
15	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (矢本石巻道路) 	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計	→	→				<ul style="list-style-type: none"> 石巻北IC～桃生豊里IC L=12.1km(4/4) 平成27年度開通予定 ↓ 平成28年度開通予定 石巻北IC平成27年秋開通予定 <p>〔進捗状況〕 ・軟弱地盤改良施工時の支障物(転石)により作業効率が低下し、工事工程に遅延が発生</p>
16	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (登米志津川道路) 	・改良工事 ・舗装工事 ・調査設計	・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進	→					<ul style="list-style-type: none"> 登米東和IC ～(仮称)志津川IC L=11.1km(2/2) 平成27年度開通予定
17	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (南三陸道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→	→				<ul style="list-style-type: none"> (仮称)志津川IC ～(仮称)南三陸海岸IC L=3.0km(2/2) 平成28年度開通予定 (仮称)南三陸海岸IC ～(仮称)歌津IC L=4.2km(2/2) 平成29年度開通予定
18	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (歌津～本吉) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→	→	→			<ul style="list-style-type: none"> (仮称)歌津IC ～(仮称)歌津北IC L=4.0km(2/2) 平成30年度開通予定 (仮称)歌津北IC ～(仮称)本吉IC L=8.0km(2/2) 着手後概ね10年程度を目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定 開通時期未定 (仮称)歌津北IC～(仮称)本吉IC
19	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (本吉気仙沼道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→					<ul style="list-style-type: none"> (仮称)大谷IC ～(仮称)気仙沼IC L=7.1km(2/4) 平成29年度開通予定
20	宮城	一般国道45号 三陸縦貫自動車道 三陸沿岸道路 (気仙沼～唐桑南) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進	→	→	→			<ul style="list-style-type: none"> (仮称)気仙沼IC ～(仮称)気仙沼港IC L=1.7km(2/2) 平成31年度開通予定 (仮称)気仙沼港IC ～(仮称)唐桑南IC L=7.3km(2/2) 着手後概ね10年程度を目指すものの、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定 開通時期未定 (仮称)気仙沼港IC～(仮称)唐桑南IC
21	山形 福島	東北中央自動車道 福島～米沢 	・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・トンネル工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進	→	→				<ul style="list-style-type: none"> (仮称)福島JCT ～(仮称)大笹生IC L=1.9km(2/4) 平成28年度開通予定 (仮称)大笹生IC ～(仮称)米沢IC L=26.1km(2/4) 平成29年度開通予定 平成28年度開通予定 (仮称)福島JCT～(仮称)大笹生IC 平成29年度開通予定 (仮称)大笹生IC～(仮称)米沢IC

高規格幹線道路・地域高規格道路事業の進捗状況

番号	県名	事業名	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	H26	H27	H28	H29	H30	H31以降	備考
22	福島	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (相馬～相馬西) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成30年度開通予定 相馬IC～(仮称)相馬西IC	相馬IC～(仮称)相馬西IC L=6.0km(2/2) 平成30年度開通予定
23	福島 宮城	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (阿武隈東道路) 	・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	トンネル工事 ・調査設計	調査設計、工事推進					平成28年度開通予定 (仮称)相馬西IC～(仮称)阿武隈東IC	・(仮称)相馬西IC ～(仮称)阿武隈東IC L=10.7km(2/2) 平成28年度開通予定
24	福島	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (阿武隈東～阿武隈) 	・用地買収 ・改良工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成29年度開通予定 (仮称)阿武隈東IC～(仮称)阿武隈IC	・(仮称)阿武隈東IC ～(仮称)阿武隈IC L=5.0km(2/2) 平成29年度開通予定
25	福島	一般国道115号 東北中央自動車道 相馬福島道路 (霊山道路) 	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	・用地買収 ・改良工事 ・橋梁工事 ・トンネル工事 ・調査設計	調査設計、用地買収、工事推進					平成29年度開通予定 (仮称)阿武隈IC～(仮称)霊山IC	・(仮称)阿武隈IC ～(仮称)霊山IC L=12.0km(2/2) 平成29年度開通予定
26	福島	一般国道121号 会津縦貫北道路 	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	・改良工事 ・橋梁工事 ・舗装工事 ・調査設計	調査設計、工事推進					平成27年度開通予定 湯川南IC～会津若松北IC	湯川南IC～会津若松北IC L=3.0km(2/4) 平成27年度開通予定

◆復興道路・復興支援道路の見える化（平成26年度）

- 起工式、現場見学会、地域の復興支援、自治体での事業進捗等、見える化を紹介

◆復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み**○住民参加による各種式典の開催**

- ・式典への住民参加事例を紹介

○現場見学会における進捗状況の説明

- ・夏休みを活用した現場見学会、体験学習を併用した現場見学会を紹介

○市町村役場等における進捗状況発信

- ・市町村役場や道の駅、観光施設等において「モニター」「説明看板」や「かわら版」「HP」等による情報発信を紹介

○地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

- ・施工企業のCSR活動の見える化を紹介

◆県別・市町村別における「見える化」の取り組み**○岩手県**

- ・県及び市町村で実施する現場見学会や広報を紹介
- ・好事例を紹介

○宮城県

- ・市町村で実施する現場見学会や広報を紹介
- ・好事例を紹介

○福島県

- ・県及び市町村で実施する現場見学会や広報を紹介
- ・好事例を紹介

復興道路・復興支援道路の見える化（平成26年度）

～ 総延長584km 214km開通済 113km新規開通見通し発表 ～

復興道路・復興支援道路 開通目標



[平成26年4月25日公表]

注: 特記の無い項目は平成27年3月31日時点

◇起工式

Tn貫通式等

41回
新聞90回報道
テレビ74回放映

トンネル貫通式
吉浜トンネル(大船渡市)(H26.4.25)



◇現場見学会等

67回
約2,900人

H25年度
64回 約2,700人

南三陸道路
4号トンネル見学会(南三陸町)(H26.6.5)



◇復興道路専用COプラントの稼働

8月31日: 宮古地区
9月3日: 釜石地区

宮古地区
COプラント稼働式(宮古市)(H26.8.31)



◇地域復興支援

発生土提供
42地区250万m³
(H26年度内予定)

H25年度末
44地区140万m³提供済

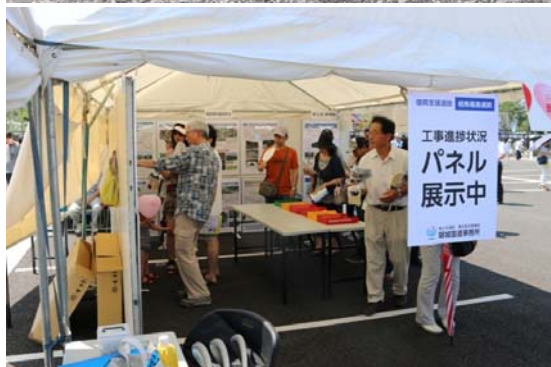
区画整理事業への
発生土提供(釜石市)



◇市町村等での進捗状況の発信

134箇所
・市町村ロビー 24箇所
・道の駅等 27箇所
・現地看板 49箇所
・進捗状況写真展 34箇所

整備進捗状況
パネル展示状況(相馬市)(H26.7.26)



約19万ヒット<H27.3末>
H25年度約13万ヒット

◇HPIによる情報発信

復興道路

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(1)

●住民参加による各種式典の開催

- ◆工事の節目に行う式典(トンネル貫通式、橋梁連結式等)において住民参加の各種式典を開催。
- ◆工事の進捗状況について理解を深め、地域とのコミュニケーションを重視。

【三陸沿岸道路 吉浜道路】

吉浜トンネル貫通式《岩手県大船渡市》
(H26.4.25)



▲近隣の4つの小中学生270名を含む地域の方々の参加により貫通式を開催。

【三陸沿岸道路 宮古田老道路】

山口第2トンネル着工式《岩手県宮古市》
(H26.10.10)



▲宮古田老道路において4本目のトンネル着工となる山口第2トンネルの着工を次代を担う地元小学生を招き開催。事業の進捗に理解を深めてもらった。

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(2)

●現場見学会における進捗状況の説明

- ◆小中学生や地域の方々、土木を専門に学んでいる高校生・大学生、復興道路等の事業を支援していただいている団体や自治体等、様々な方々が現場見学に参加。
- ◆夏休みを活用し親子で参加できる現場見学会の開催、体験学習を併用した現場見学会の開催等、工夫を凝らした現場見学会を開催。

【相馬福島道路 霊山道路】

夏休みを活用した現場見学会《福島県伊達市》

【三陸沿岸道路 矢本石巻道路】

体験学習を併用した現場見学会《宮城県石巻市》



▲金弁蔵トンネル等の構造物を見学(26.8.2)



▲高力ボルトの締め付け体験(26.12.3)

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(3)

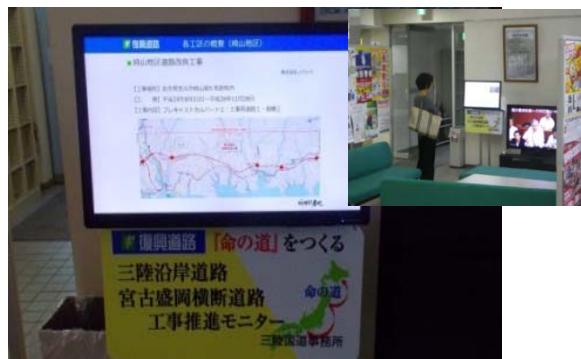
●市町村役場等における進捗状況発信

- ◆地域の方々が集まる市町村の役場・道の駅や観光客が集まる観光施設等においてモニター、かわら版、HP等を活用し、復興道路等の必要性や工事の進捗状況を発信。
- ◆地域の方々や道路利用者、観光客等を対象に進捗状況の見える化の取り組みを実施。

①復興道路等の沿線市町村ロビー等における情報提供の工夫



▲市役所のカウンター脇の小スペースを活用しモニターより情報を発信(岩手県釜石市)

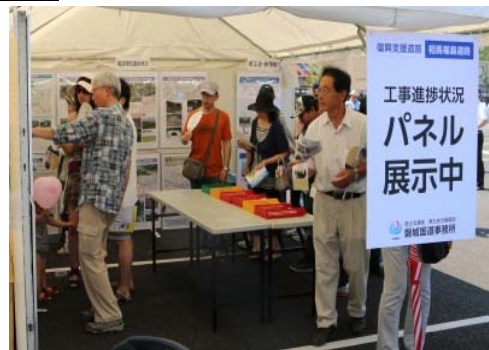


▲市役所の休憩スペースを活用しモニターより情報を発信(岩手県宮古市)

②沿線道の駅等における情報提供の工夫



▲メイントンネルの進捗状況を発信
▲道の駅「区界高原」における工事進捗状況の発信(岩手県宮古市)



▲イベントを活用した情報発信状況(福島県相馬市「市民のひろば」(H26.7.26))

③現場広報ポイントにおける説明看板の工夫



▲「吉浜釜石道路 荒川トンネル」では説明看板に三次元平面図を活用(岩手県釜石市)



▲統一看板への開通目標の掲示(岩手県遠野市)

④「かわら版」やHPによる情報発信



▲進捗状況をお知らせする「かわら版」



▲東北地方整備局の復興道路ポータルサイト(HP)

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(4)

●地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

- ◆次代を担う子供たちを含めた地域とのコミュニケーションをより重視して、施工企業のCSR活動とともに見える化の取り組みを実施。
- ◆国道45号摂待道路工事では、公共用プラントの愛称募集や地元中学生に体験学習の場を提供し、小鎚地区トンネル工事では、着工式で「ちびっこ虎舞」を披露した幼稚園児を現場見学会に招待する等、地域とのコミュニケーションを深める取り組みを実施。

【三陸沿岸道路 田老岩泉道路】

国道45号摂待道路工事 《岩手県宮古市》

【三陸沿岸道路 釜石山田道路】

小鎚地区トンネル工事 《岩手県大槌町》



▲プラント稼働式に愛称・PRボード
図案を応募してくれた小学生を招待
(H26.8.31)



▲PR看板応募作品



▲地元中学生が「生コン造り」を体験する
総合学習の場を提供(H26.8.26)



▲着工式(H25.10.10)
幼稚園児による
ちびっこ虎舞を披露



▲着工式でちびっこ虎舞を披露した幼稚園児を現場見学会に招待(H26.7.9)

○市町村別における「見える化」の取り組み

【岩手県】

岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・県政広報誌「いわてグラフ」、「県土づくりNEWS」やホームページで復興道路の情報を発信 ・民放4社の県政番組において復興道路の進捗状況を情報発信
盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市ホームページで復興道路を紹介
宮古市	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催で地元住民等を対象とした復興道路現場見学会の実施
大船渡市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の女性を対象とした「現場見学会」を主催
遠野市	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催で地元住民を対象とした現場見学会を実施
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報へ三陸沿岸道路・釜石花巻道路の進捗状況を4頁にわたり掲載 【事例1】 ・市長室に三陸沿岸道路の模型を掲示
大槌町	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生とその保護者を対象とした「まちづくり現場見学会」を主催 ・町広報へ三陸沿岸道路・釜石山田道路の進捗状況を2頁にわたり掲載
山田町	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会ブログで工事進捗を発信 【事例2】
岩泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・現場見学会(地域住民、小中学生、関係機関)を主催
田野畑村	<ul style="list-style-type: none"> ・村広報へ三陸沿岸道路・田野畑道路、尾肝要普代道路の進捗状況を8頁にわたり掲載
野田村	<ul style="list-style-type: none"> ・村民各戸に導入されているIP告知端末で三陸沿岸道路の工事進捗状況を発信
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈市ホームページで三陸沿岸道路の工事進捗状況を発信
洋野町	<ul style="list-style-type: none"> ・洋野町ホームページで三陸沿岸道路の工事進捗状況を発信

【岩手県】

事例1：広報誌にて進捗状況を発信（釜石市）

釜石道路

〇路線概要
「復興道路」は、被災した「復興」と「復興」の復興を促進する目的で、被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

〇工事状況
復興道路の工事進捗状況を把握し、被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

大沢小学校 復興工事（2015年11月撮影）
中野小学校 復興工事（2015年11月撮影）

復興道路・復興支援道路の整備状況をお知らせします

復興道路の整備状況をお知らせします。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

復興道路の整備状況をお知らせします。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

吉浜釜石道路

〇路線概要
「復興道路」は、被災した地域の復興を促進する目的で、被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

〇工事状況
復興道路の工事進捗状況を把握し、被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

復興道路の整備状況をお知らせします。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

釜石山田道路

〇路線概要
「復興道路」は、被災した地域の復興を促進する目的で、被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

〇工事状況
復興道路の工事進捗状況を把握し、被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

復興道路の整備状況をお知らせします。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。被災した地域の復興を促進する。

事例2：観光協会ブログで工事進捗を発信（山田町）

山田町観光協会 公式ブログ vol.2
山田とことこ日記

岩手県のリアス式で有名な三陸海岸のど真ん中「山田町」にある山田町観光協会の公式ブログ(vol.2)です。山田の観光情報、おすすめスポット、旬の話、復興状況など発信してまいりますのでよろしくお願いいたします！

TOP / 復興道路
- 1 2 3 >>

2015年02月18日

大沢小学校 工事見学

2月10日(水)は大沢小学校の工事見学がありました。場所は「山田第2トンネル工事」、釜石側です。

お邪魔するのは2回目、果たしてどこまで掘り進んだのでしょうか。1回目の様子はこちら→<http://yamada-kankou.sblo.jp/article/104125300.html>

検索ボックス
検索

関係リンク
ブログvol.1 (山田かきくけこ通信)
岩手県 山田町観光協会 公式サイト
山田咲え〜る日記
三陸山田がんばつべ市場 (ネットショップ)

最近の記事
(15/02/24)山田町観光協会臨時総会
(15/02/23)環境省・復興エコツーリズム推進モデル事業『成果報告会』
(15/02/21)とつとつからのお知らせ
(15/02/20)山田町ジオパーク学習会
(15/02/18)大沢小学校 工事見学

カテゴリ
日記(298)
とつとつ(33)
イベント(30)
お祭・歳時記(34)
食べ物(8)
観光(5)
感謝(12)
実跡(9)
頑張ってます〜お店紹介〜(31)
お知らせ(322)
行ってきました(121)
復興道路(4)

2015年02月

○市町村別における「見える化」の取り組み

【宮城県】

石巻市	・市政教室において市民を対象に三陸道の現場見学会を実施し、見識を深めて頂いた。
気仙沼市	・「海の市」に気仙沼湾横断橋の模型を展示 【事例1】
南三陸町	・町広報紙にて整備状況を周知 【事例2】

【宮城県】

事例1:「海の家」に気仙沼湾横断橋の模型を展示(気仙沼市)



事例2: 広報誌にて進捗状況を発信(南三陸町)

広報26年5月号



広報27年1月号



トンネル見学会

11月26日(水)、工事中の南三陸道路2号・3号トンネルを志津川小学校と戸倉小学校の児童が見学しました。トンネルが出来るまでの説明を受け、機械が実際に掘削する様子を目の前で見ました。また、今回見学に来る前に、トンネルを造るために必要なロックボルトのカバー一つひとつに児童が思いの言葉や絵を描きました。児童たちは自分が描いたカバーを見つけると、駆け寄って一緒に記念撮影をしたりしました。このカバーは工事が進むと隠れて見えなくなってしまうのですが、児童の思いとともにトンネルの一部としてずっと残りつづけます。

南三陸道路1号トンネル貫通!!

4月14日(月)、「復興道路」として整備を進める三陸自動車道のうち、志津川と歌津を結ぶ南三陸道路の1号トンネルの貫通式が現地(入谷字大沢地内)で行われました。衆議院議員小野寺五典、防衛大臣志津川中学校の生徒等が発破ボタンを押すと、爆発音とともに貫通点が除幕されました。南三陸道路では4か所のトンネルが整備されます。すでに4か所全て着工済みですが、貫通したのは1号トンネルが初めてです。1号トンネルの貫通が復興の追い風となることでしょうか。式の中では、貫通を祝い、志津川中学校3年生による合唱「歓喜の歌」が披露されました。

○市町村別における「見える化」の取り組み

【福島県】

福島市	・福島市ホームページで復興道路を紹介
相馬市	・ホームページや広報誌「広報そうま」に事業進捗状況等を掲載 【事例1】 ・地域住民に進捗状況を周知するために復興道路の現場見学会を開催
伊達市	・広報誌「だて市政だより」にて毎号掲載し情報提供 ・市内各小・中学校27校に工事状況ポスターを掲示 【事例2】
桑折町	・広報誌「広報こおり」によるPR ・桑折町ホームページに復興道路紹介ホームページをリンク
国見町	・国見町ホームページに復興道路紹介ホームページをリンク

【福島県】

事例1:市のホームページで相馬福島道路の目宣や整備効果等を発信(相馬市)

相馬市ホームページの「相馬福島道路」に関するページ。左側には「相馬」のロゴと「相馬のデータ」「相馬の未来」などのメニューがあります。中央には「相馬福島道路」の概要と「事業促進PPP」の情報が掲載されています。

区間	住所	延長	備考
相馬西道路	相馬市山上～相馬市山上	8.0km	平成30年度開通予定
阿武隈東道路	相馬市山上～相馬市東五野	10.7km	平成29年度開通予定
阿武隈東～阿武隈	相馬市東五野～伊達市霊山町石田	5.0km	平成29年度開通予定
霊山道路	伊達市霊山町石田～伊達市霊山下小国	12.0km	平成29年度開通予定
霊山～相馬	伊達市霊山下小国～相馬市山上	約18km	平成25年度事業着手
相馬福島道路 延長約45km			

事例2:市内各小・中学校27校に工事状況ポスターを掲示(伊達市)



復興道路等の広報活動の取り組みについて【岩手県】

1 県政テレビ番組を活用した復興道路等の広報活動の取り組みについて

(1) 目的

県政テレビ番組を利用し、国によりかかってないスピードで進められている県内の復興道路が全区間で本格着工したことや、県施工箇所の進捗状況を広く県民に周知し、復興の加速をアピールしたものの。

(2) 放送日・放送局

放送日：平成26年9月29日（月）～平成26年10月4日（土） 計5回放送

放送局：テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、IBC岩手放送、岩手朝日テレビ

※上記4局とも同一内容を放送

(3) 放送内容

- ・ 復興道路、復興支援道路等の概要説明
- ・ 宮古盛岡横断道路「平津戸松草道路」「区界道路」起工式の模様
- ・ 宮古盛岡横断道路「都南川目道路」の工事状況
- ・ 県施工工区の工事状況（国道106号宮古西道路、国道340号立丸峠、国道281号案内）

(4) 放送映像



【番組オープニング】



【平津戸松草道路・区界道路 起工式】



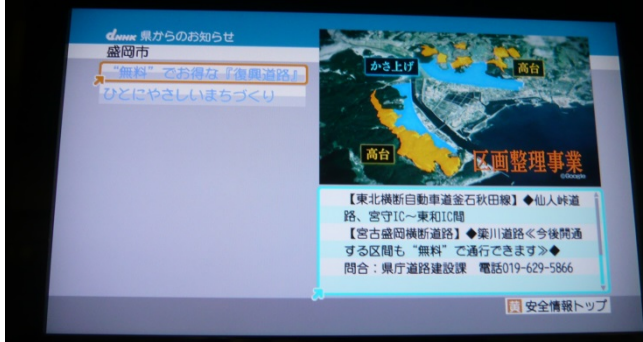
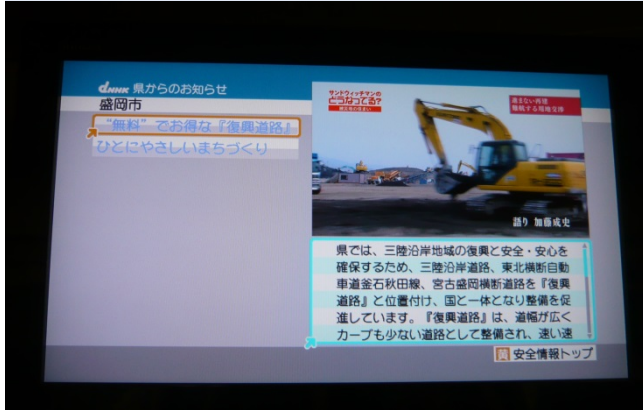
【岩手河川国道事務所 村井禎美 所長】



1 【岩手県県土整備部 蓮見有敏 技監（当時）】

2 その他の主な広報活動の取り組みについて

地上デジタルデータ放送による広報 (平成26年4月)



広域振興局ナビ (平成26年8月)

復興NEWS ...VOL.3 **八戸・二戸・久慈圏域内のアクセス性が向上 八戸南環状道路(三陸沿岸道路)と八戸自動車道が繋がりました!**

三陸沿岸道路(復興道路)として国土交通省と東日本高速道路株式会社が整備を進めてきた「八戸南環状道路」が平成26年3月29日に開通しました。
開通区間は「八戸JCT～八戸是川IC」の約4.8kmで、これにより八戸南環状道路8.6kmが全線開通し、陸上ICまでの延長17.3kmが自動車専用道路として通行可能となりました。今回の開通により三陸沿岸道路と八戸自動車道が繋がることにより、八戸、二戸、久慈圏域内のアクセス性が向上し、圏域内の交流連携がさらに深まることが期待されます。
開通した自動車道を利用して、八戸久慈エリアの三陸復興国立公園や、二戸エリアの名所旧跡など、圏域内の人気観光スポットをドライブ巡りするのはいかがでしょうか。
なお、八戸是川IC～陸上IC区間は通行無料ですが、八戸JCT(料金所)から八戸自動車道以降は有料となりますのでご注意ください。
※「八戸南環状道路」の詳細は、国土交通省東北地方整備局青森国道事務所ホームページ“みちの広場”を御覧ください。(担当：土木部 0194-53-4990)

“八戸圏域との交流・連携のさらなる深まりが期待される八戸南環状道路の開通”

県土づくりNEWS (平成26年8月号)

県土づくりNEWS 2014年8月号 **現場ニュース**

宮古盛岡横断道路 平津戸松草道路・区界道路『起工式』
～ 震災後に新規事業化された県内の復興道路がすべて着工しました! ～

道路建設課

平成26年8月24日(日)、宮古市区界にて、宮古盛岡横断道路「平津戸松草道路・区界道路」の起工式が挙。県、宮古市、前町の共催で開催しました。
起工式には、国土交通省東北地方整備局長、知事、宮古市長、盛岡市長をはじめ、国會議員、県議員、市議員の両方、沿線住民のみなさんなど多数の関係者が出席しました。
オープニングセレモニーとして地元保存会による「田代忠仙刺繍」が披露されたほか、起工式では工事の安全と一日も早い完成を祈念して、関係者と地元小学生による旗入れや工事の土砂をタンクで搬出する工事機しりせりせりなどが行われました。

起工式の様子
起工式に出席する関係者
旗入れの様子

宮古盛岡横断道路(平津戸松草道路・区界道路)起工式

国土交通省東北地方整備局長、知事、宮古市長、盛岡市長、国會議員、県議員、市議員の両方、沿線住民のみなさんなど多数の関係者が出席しました。

旗入れの様子

工事機しりせりせり

新聞による広報 (平成26年4月19日、20日) 岩手日報、岩手日日、東海新報、釜石新聞

「無料」で走りやすい 県内の『復興道路』

県が国と一体となり整備を促進している『復興道路』は、信号もなく快適に走行できます。次の区間は「無料」ですので是非ご利用ください!

- 三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路／開通区間は全て「無料」
 - 東北横断自動車道釜石秋田線／東和ICから釜石方面は全て「無料」
- 《今後開通する区間も「無料」で通行できます》
- ※県では、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、上記3路線を『復興道路』と位置付け、整備を促進しています。
- お問い合わせ／県庁道路建設課
電話 019-629-5866

復興道路・復興支援道路の活用について

H27.6.1

岩手県県土整備部

復興道路が開通すると…



時間短縮

沿岸各都市間、内陸と沿岸の所要時間が短縮されます

災害に強い道路の確保

災害時でも安全で安心な通行が可能となります

渋滞解消（交通の分散）

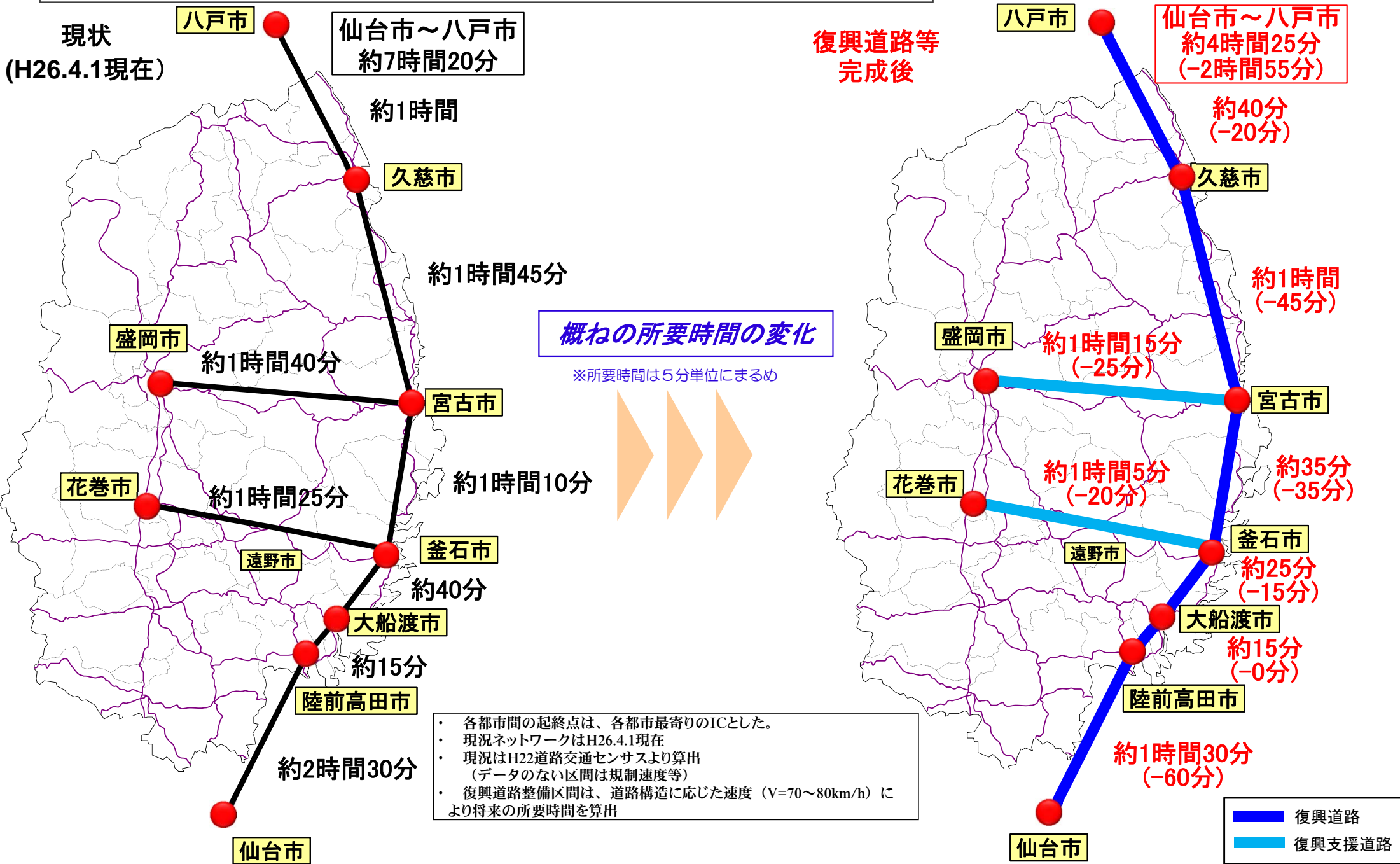
交通量が分散し、渋滞の改善効果が期待できます

その他の効果

走行経費の削減、交通事故の減少、走行快適性向上など

復興道路等の整備効果 <例1：時間短縮>

○ 復興道路の完成により、主要都市間の所要時間が大幅に短縮



復興道路等の整備効果 <例2:災害に強く信頼性の高い道路>

- 復興道路の完成により、災害発生時に通行止めの可能性があるルート回避
- 主要都市間を繋ぐ道路ネットワークの信頼性が向上

震災の直前に開通(H23.3.5)していた釜石両石IC～釜石北IC間は、震災による大きな損傷がなく、避難場所、避難路、迂回路として極めて有効に機能



三陸沿岸道路「釜石山田道路」(H23.3.5開通)



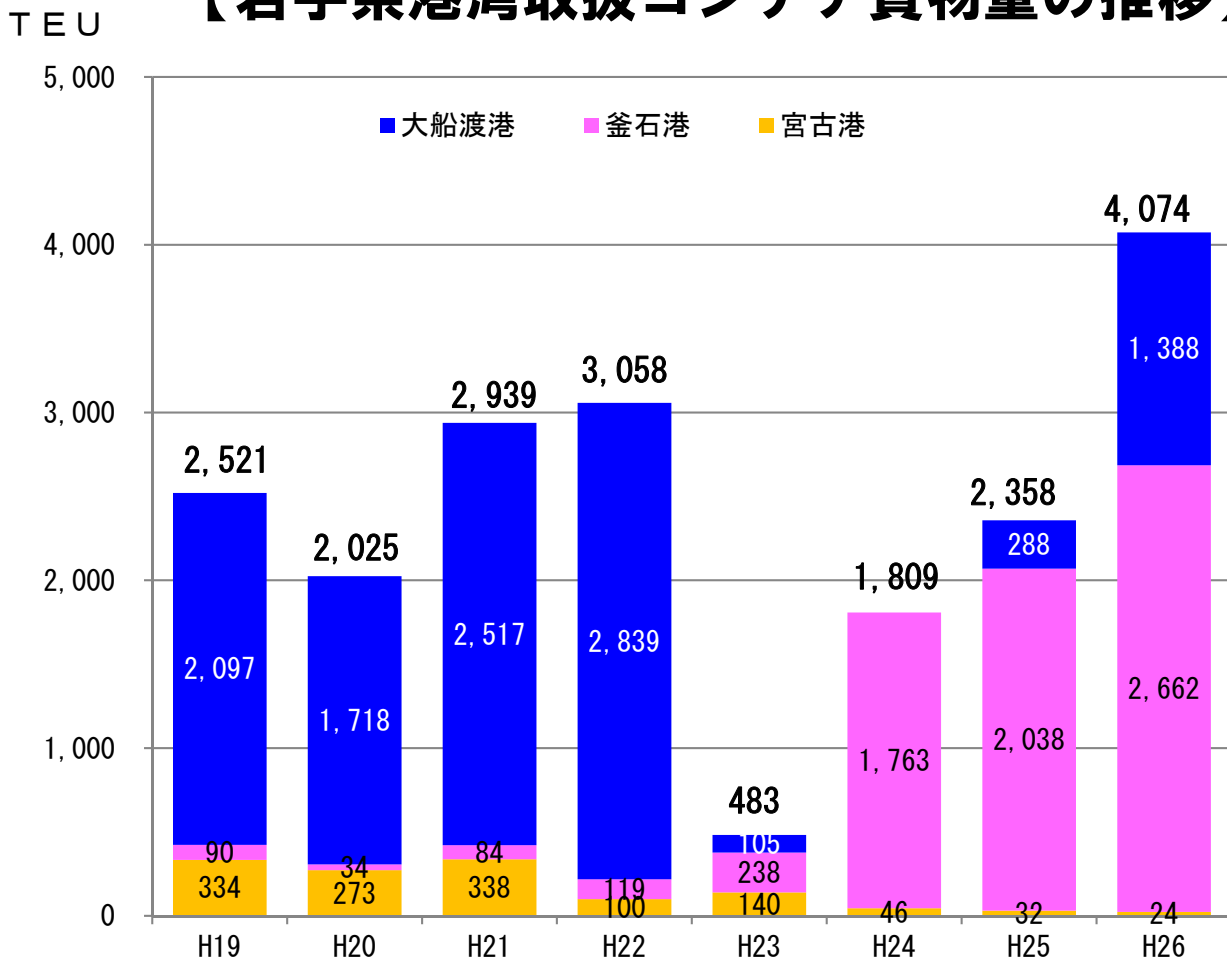
一般国道45号釜石市両石地区の道路流出(H23.3)

凡例	
	三陸沿岸道路(釜石山田道路)事業中区分
	国道45号
	津波による主な浸水地域

復興道路等を活用した港湾の利活用

岩手県内の港湾の現状

【岩手県港湾取扱コンテナ貨物量の推移】



【コンテナ貨物の航路】

大船渡港	外貿定期コンテナ航路 休止中 (H19年4月～)	日曜日 寄港
	釜山港～清水港～仙台塩釜港～大船渡港 ～釜山港～蔚山港～光陽港～上海港～ 寧波港～釜山港	
	内航フィーダー航路 (H25年9月～) 京浜港～大船渡港～仙台塩釜港～京浜港	
釜石港	内航フィーダー航路 (H23年7月～) 京浜港～仙台塩釜港～釜石港～京浜港	日曜日 寄港
宮古港	内航フィーダー航路 (H10年6月～) 横浜港～仙台塩釜港～宮古港～八戸港 ～苫小牧港～横浜港	水曜日 寄港

震災後、釜石港と京浜港を結ぶ航路等が開設

復興道路等を活用した港湾の利活用

「いわての港」物流活性化戦略（岩手県重要港湾利用促進戦略：H25.3）

- 復興道路等の整備促進や集荷体制の強化など、ハード、ソフト面における港湾利用者の視点に立った物流機能活性化に向けた取組を展開。
- いわての港湾を荷主企業等に強くアピールするセミナーの実施や、各港湾の特色に応じたポートセールスを展開。

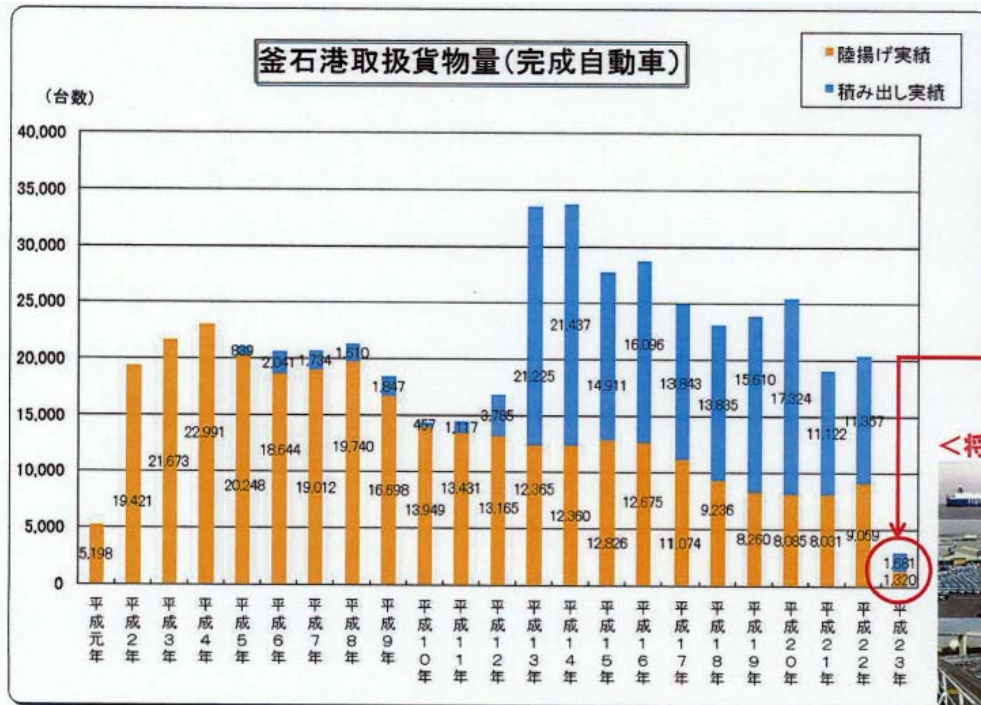
《主な取組内容》

取組項目	実施主体	スケジュール				
		H24	H25	H26	H27	H28～
復興道路等の整備促進	国、県	復興道路等の整備促進				
物流動向調査	国		コンテナ物流動向調査			コンテナ物流動向調査
	県、各港協議会	企業の物流動向等を調査				
集荷体制の強化	県、各港協議会、関係企業	LCL取扱いや料金・問合せ窓口体制の整備など、関係企業等が連携した集荷体制を強化				
集荷のための補助や使用料等の減免	県、市	集荷目的等に応じて荷主企業に対する補助や港湾施設使用料等の減免を実施				
港湾・アクセス情報等の提供	県など	企業向け説明会やホームページ等によりアクセス改善や港湾施設・設備等の情報を提供				
港湾セミナーの実施	県、市、関係企業	首都圏の荷主等に対しトップセールスを実施				
コンテナ航路の誘致（釜石、大船渡）	県、関係市	外資コンテナ航路再開				
	県、関係市	新たなコンテナ航路の誘致				
完成自動車航路の再開（釜石）	県、釜石市、関係企業	新たな航路の提案も含め完成自動車輸送を再開				
カーフェリー航路の誘致（宮古）	県、宮古市、関係企業	カーフェリー航路誘致に向けた検討				
	県、宮古市、関係企業	検討状況を踏まえてカーフェリー航路を誘致				
ポートセールス	県、市、関係企業	荷主企業の港湾利用や工業用地等への企業誘致に向けてポートセールスを実施				

港湾物流の回復・拡大には、復興道路の早期完成が必要

復興道路等の完成を見込んだポートセールス(釜石港)

- 釜石港では平成元年より完成自動車の物流が開始。
- 平成12年には輸出用車両の積み出しが開始。
- 平成23年2月、トヨタ輸送釜石営業所が移転新築。モータープール面積も1.5倍増へ。
- しかし、平成23年3月、東日本大震災津波により全施設流出。完成自動車の物流が停止し、現在に至る。
- 復興道路等の完成により、内陸部の工場との所要時間が大幅に短縮。
- 完成自動車物流の復活に向け、復興道路等の完成を前提としたポートセールスを実施中。



【ポートセールス資料の一例】

沿岸復興へ向けて着々と進むいわてのインフラ整備

1. 道路
 (1) 岩手工場周辺の道路整備により、東北縦貫自動車道へのアクセスが良くなります。
 (2) 釜石自動車道整備(新道方式による整備のため、東相IC以降の高送料金無料)や国道107号改良により、釜石港へのアクセスが格段に良くなり、リードタイム・コストメリットが現状よりも向上します。

2. 港湾
 (1) 東日本大震災からの復旧・復興が進み、高内野程度や荷役の安全性が向上します。
 (2) モータープールを津波対策施設の内備(陸揚)へ設置し、人命および財産を守ります。
 (3) 従来からの24時間365日対応、低料金の港費により、シャストインタイム・コストメリットが確保出来ます。

TME岩手工場からのJIT・VIA比較

行先	仙台港	釜石港
発送ルート	東北道 +釜石道	東北道 +釜石道
距離	124km	111km
時間	105分	95分
高送料金(フルトラ)	6,950円 ※100%	1,700円 ※100%
完成車1台あたり	7,100円 ※100%	5,430円 ※100%
1寄港あたり料金	0万2千円 ※100%	7万4千円 ※100%

※1 釜石道は全線無料。現状でも釜石港まで114km、115分、高送料金1,700円。
 ※2 人件費、燃料費、維持管理費を含むフルトラ(7台車)にて算出。
 ※3 1.5ト(積) (標準丸)で算出。料金の内容は、入港料、岸壁使用料、(標準丸)入港料(なし)、外船取扱料(あり)等。

釜石港での完成自動車取扱再開を!

釜石港での完成自動車取扱再開を!

釜石港における完成自動車の早期利用再開には、
復興道路の早期完成が必要

釜石市周辺への企業立地、既存事業の事業拡大

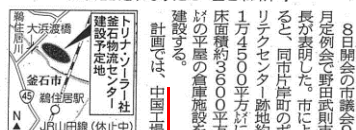
- 釜石市は、重要港湾釜石港があり、三陸沿岸道路と東北横断自動車道釜石秋田線の結節点
- 復興道路等の完成による物流拠点の優位性を見込んだ企業立地、事業拡大の動き
 - エア・ウォーター物流(株)「釜石低温センター」H25.9月完成・稼働(大型低温倉庫)
 - トリナ・ソーラー社「釜石物流センター」立地予定(ソーラーパネル)
 - SMC(株)釜石、遠野工場増設予定(空気圧縮機)

平成26年9月9日 岩手日報

釜石に国内初物流拠点



トリナ・ソーラー社の国内初の物流拠点が建設される予定地=釜石市片岸町



世界的な太陽光パネル製造販売企業トリナ・ソーラー社(本社・中国江蘇省)は、釜石市片岸町(片)で国内初の物流センターを建設する。中国で生産された太陽光パネルを釜石港に陸揚し、東北各地に配送する物流拠点を、2015年上半期の建設開始を目指す。国際コンテナ港の釜石港(復興道路)と高速交通網の結節点として物流面での優位性を生かした立地だ。同市の産業復興へ貢献する。

8日開会の市議会の月例会で野田副市長が表明した。市によれば、同市片岸町のホリテセンター跡地約1万4500平方メートルに、床面積約3000平方メートルの倉庫施設を建設する。計画では、中国工場から運来したパネルをトラックなどで運搬し、同市の関係企業に供給する。復興道路の整備により港と陸の連携がより密になる。同社は2014年に

太陽光パネルのトリナ・ソーラー社(中) 東北への配送視野

来年度上半期稼働 事業費は約4億円、同市片岸町のホリテセンター跡地約1万4500平方メートルに立地。同社は2014年に

平成27年3月13日 岩手日報

空気圧機器メーカー SMC

遠野、釜石で増設

きょう工場立地協定

遠野市と釜石市は、空気圧機器メーカー SMC(株)の遠野工場増設と釜石工場新設の立地協定を締結した。遠野工場は、遠野市大森町の既存工場に増設する。釜石工場は、釜石市片岸町の建設予定地に新設する。両工場は、東北各地に配送する物流拠点を、2015年上半期の建設開始を目指す。国際コンテナ港の釜石港(復興道路)と高速交通網の結節点として物流面での優位性を生かした立地だ。同市の産業復興へ貢献する。

8日開会の市議会の月例会で野田副市長が表明した。市によれば、同市片岸町のホリテセンター跡地約1万4500平方メートルに、床面積約3000平方メートルの倉庫施設を建設する。計画では、中国工場から運来したパネルをトラックなどで運搬し、同市の関係企業に供給する。復興道路の整備により港と陸の連携がより密になる。同社は2014年に



復興道路等の完成を見込んだ企業立地等を更に促進させるには、復興道路等の早期完成が必要

北上南部工業団地への企業立地

○東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通を見込み、内陸部で企業立地が進む。

- 日本郵政メガ物流局
- セブンイレブン・ジャパン食品工場・配送センター



北上に「メガ物流局」

日本郵便（東京都千代田区、資本金1千億円、高橋孝社長）は17日、北上市相法町の北上南部工業団地に、新たな地区分郵便局を新設すると発表した。

日本郵便

新局は東京ターム（約4・7ヘクタール）を越える面積を持つ「メガ物流局」種で、県内各郵便局の仕分け業務を集約する。東北では初の整備で、雇用は県内各郵便局からの配転を含む約200人から500人を超す可能性もある。

用地面積約8ヘクタール

同社とは同工業団地の用地約8・2ヘクタールを約1億2千万円で取得し、9年度4千万円で取得。北上市議会が同日の臨時会で、財産（土地）処分案を可決した。同団地の分譲率は約90%と見られる。

県内の機能集約

「メガ物流局」の整備が相次ぎ、人材不足が顕著な北上市は、物流ネットワーク再編の一環で、18年度まで必要となる約1億1千万円を「約1億1千万円を当ててきた」として、全国のインター話している。

岩手、秋田に500店計画

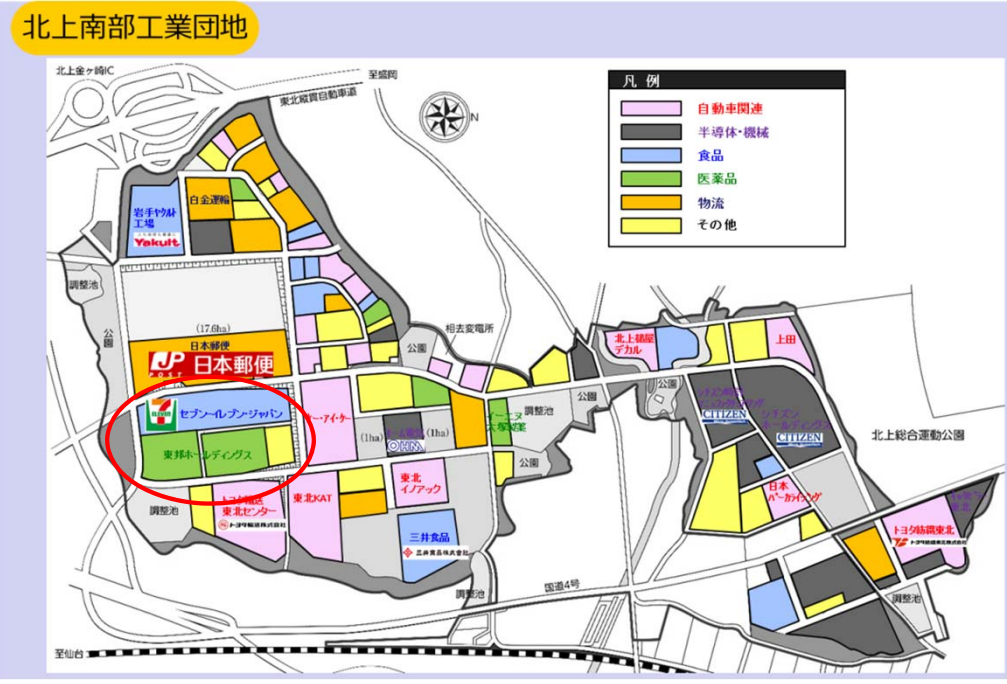
セブン-イレブン新工場

北上市と立地協定

雇用当初800人、来年稼働

【北上市】セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、資本金170億円のセブン-イレブン・ジャパン）が北上市に建設する大規模食品工場（新工場）の立地協定調印式が17日、県庁で行われ、県庁関係者、北上市関係者、セブン-イレブン関係者、地元関係者など約50人が参加した。協定内容は、北上市が新工場を建設し、セブン-イレブンが新工場を運営し、沿道や県北を含む県内全域で秋田県で合計500店舗の展開を目指すことを示した。

新工場は同市法町とセブン-イレブンの北上南部工業団地に、古屋一樹副社長らが出資し、北上市が建設し、北上市が運営する。新工場は、製造業の移転や、高橋孝社長が率いる「セブン-イレブン」の北上南部工業団地に、古屋一樹副社長らが出資し、北上市が建設し、北上市が運営する。新工場は、製造業の移転や、高橋孝社長が率いる「セブン-イレブン」の北上南部工業団地に、古屋一樹副社長らが出資し、北上市が建設し、北上市が運営する。



H26.10.18岩手日報
 ➤ 日本郵便がメガ物流局
 ➤ 全国6局目、東北初
 ➤ 雇用は2千人を超す可能性

H26.7.12岩手日報
 セブン-イレブン・ジャパン
 ➤ 食品工場と配送センター
 ➤ 雇用は800人を予定

県内初のカーフェリー定期航路開設へ向けた検討<宮古港>

- 川崎近海汽船(株)による宮古 - 室蘭のフェリー定期航路開設計画が公表
- 復興道路の完成により宮古港から県内外へのアクセスが大幅に向上すること等が主な理由

実現により期待される効果

物流の活性化、
港湾取扱量の増加

新規雇用や
地元食料調達

観光振興、
修学旅行生の誘致

等々



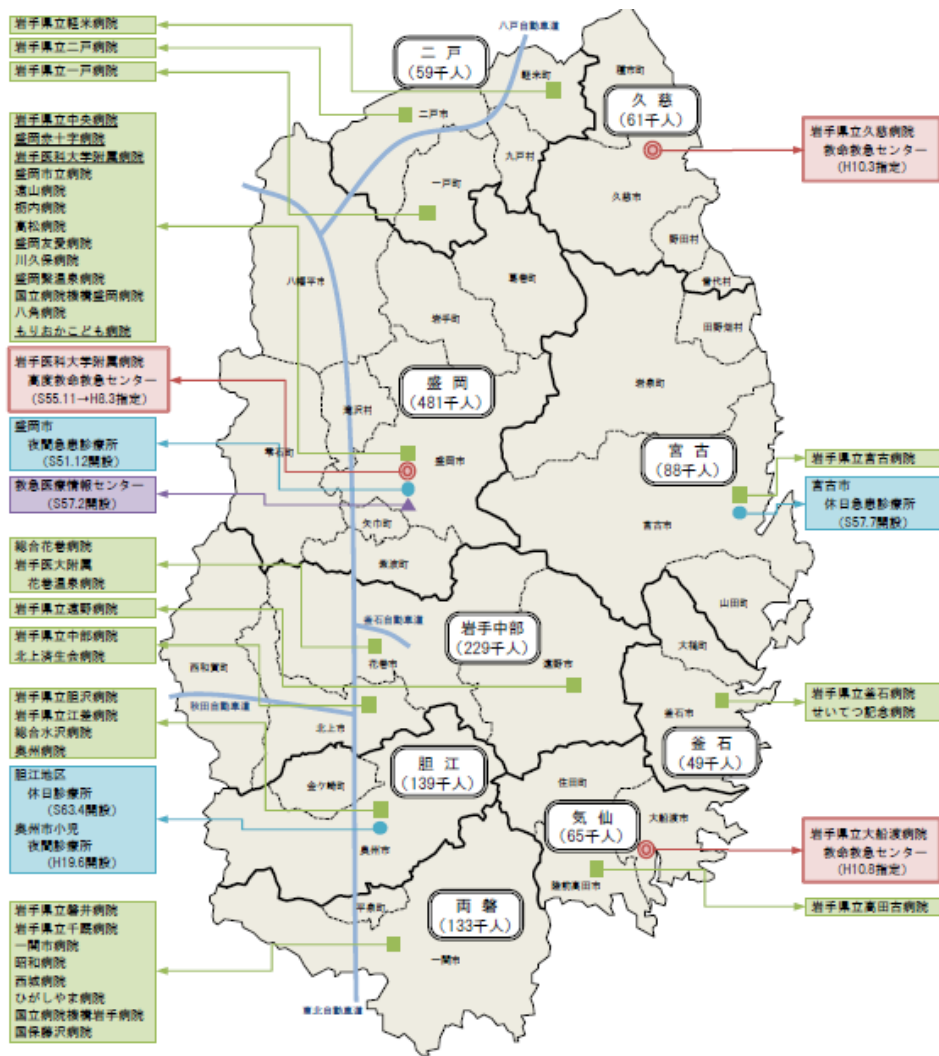
宮古港



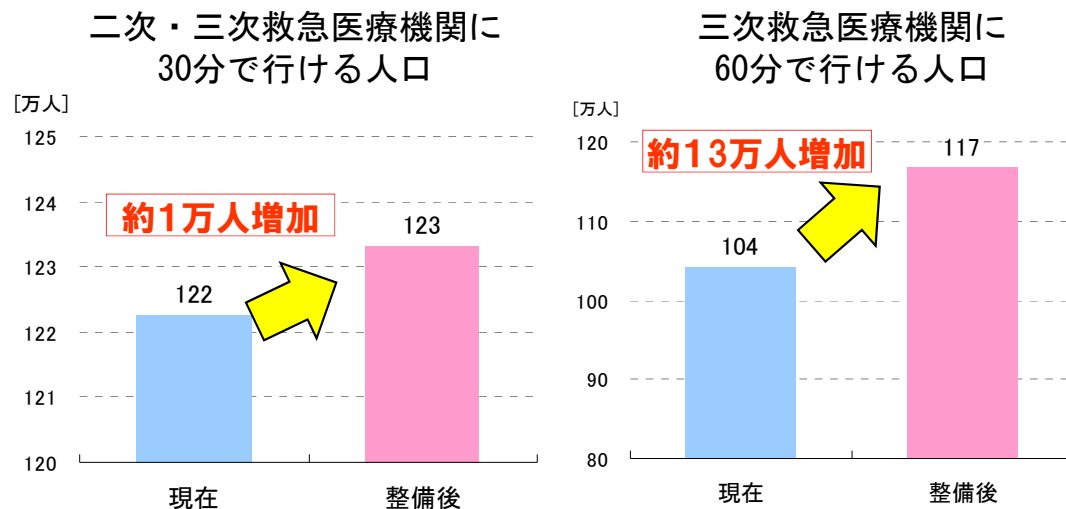
仙台・首都圏等へ

救急医療施設へのアクセス

- 救急医療体制の整っている3次救急医療施設は盛岡、大船渡、久慈の3箇所。
- 2次保健医療圏域内の輸送は、医療施設が立地する主要都市に集中。
- 道路網が貧弱な三陸沿岸地域では、医療拠点までの隘路が存在。



【復興道路等の整備前後の比較】



復興道路の整備により、
救急医療施設へのアクセスが向上

三陸沿岸地域の観光振興

- 三陸沿岸地域には、三陸復興国立公園や三陸ジオパークなど様々な観光資源が存在。
- 復興道路の完成により、内陸部からのアクセスや、観光地間の周遊が円滑に。

○ 三陸復興国立公園

東日本大震災津波で大きな被害を受けた三陸海岸で新しい国立公園「三陸復興国立公園」が平成25年5月に環境省から指定。

○ 三陸ジオパーク

平成25年9月に、岩手県を中心とする三陸海岸が、地球活動遺産を見どころとする自然公園「日本ジオパーク」に認定。

○ 高田松原津波復興祈念公園

- ・ 東日本大震災津波の犠牲者への追悼と鎮魂や復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的に、復興の象徴となる復興祈念公園の整備に向けて、平成26年6月に基本構想を策定。現在、基本計画を策定中。
- ・ 奇跡の一本松や高田松原の再生のほか、平成27年度には国営追悼・祈念施設や、重点道の駅に選定された道の駅「高田松原」が事業化。



浄土ヶ浜



碁石海岸



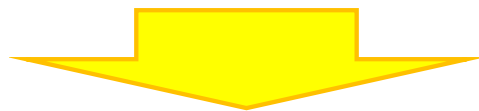
三陸復興・振興方策の検討

【背景】

- 東日本大震災津波の影響により、三陸沿岸地域の人口流出が大きな課題。
- 本格復興が進む中、復興道路等の整備により、沿岸地域内や他地域との時間距離は大きく短縮されるなど、同地域をめぐる環境はダイナミックに変化する見込み。
- これらを踏まえ、三陸沿岸地域の復興・振興に向けて、県、市町村のほか、企業や大学、団体等などが連携して取り組むべき復興・振興方策の提言集をとりまとめるもの。

【活用方法】

- 提言集は、県復興委員会等に対して報告。次期総合計画等に反映。



**復興道路等を活用した地域の復興支援策や
地域づくりについてもとりまとめ**

復興道路等の活用方策のとりまとめ

取組内容

(1) 復興後の三陸地域に関するデータの収集・整備及びシミュレーション

① 沿岸地域の動向を収集・整理

- ・復興道路等の交通ネットワークの整備など復興事業がもたらす効果や、企業や支援団体等の活動など被災地における新たな動向を収集・整理

② 地域社会経済に与える影響の調査・分析、シミュレーション

- ・沿岸地域の人口移動、消費活動、企業活動、雇用創出、地域公共交通、物流、観光・交流などの社会経済面での影響を調査・分析、シミュレーション

(2) 三陸復興・振興方策の提言集の作成

① 外部有識者による検討委員会の設置

② 被災市町村等に対するヒアリング

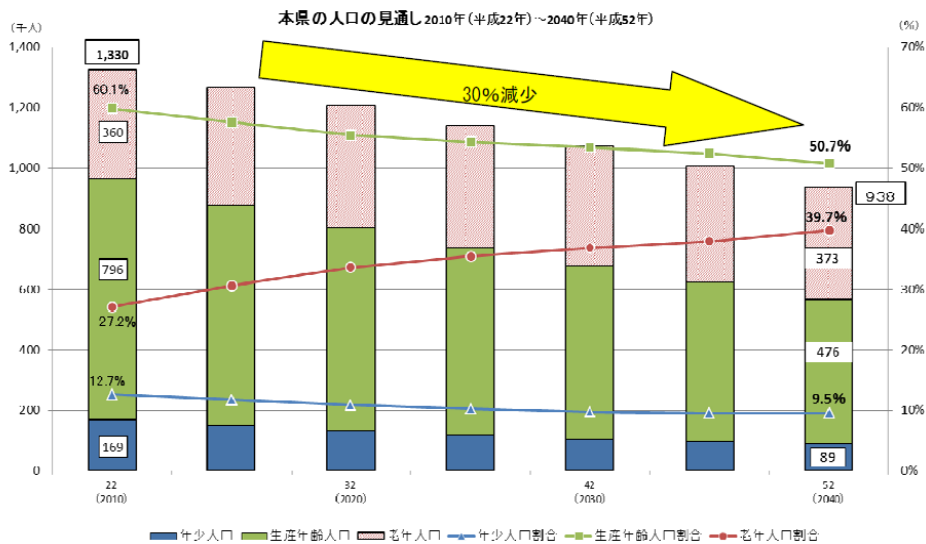
- ・被災市町村等に対し、復興後を見据えた将来展望について聴取
- ・先進事例の情報収集

③ 提言書の作成

復興道路等の活用方策のとりまとめ

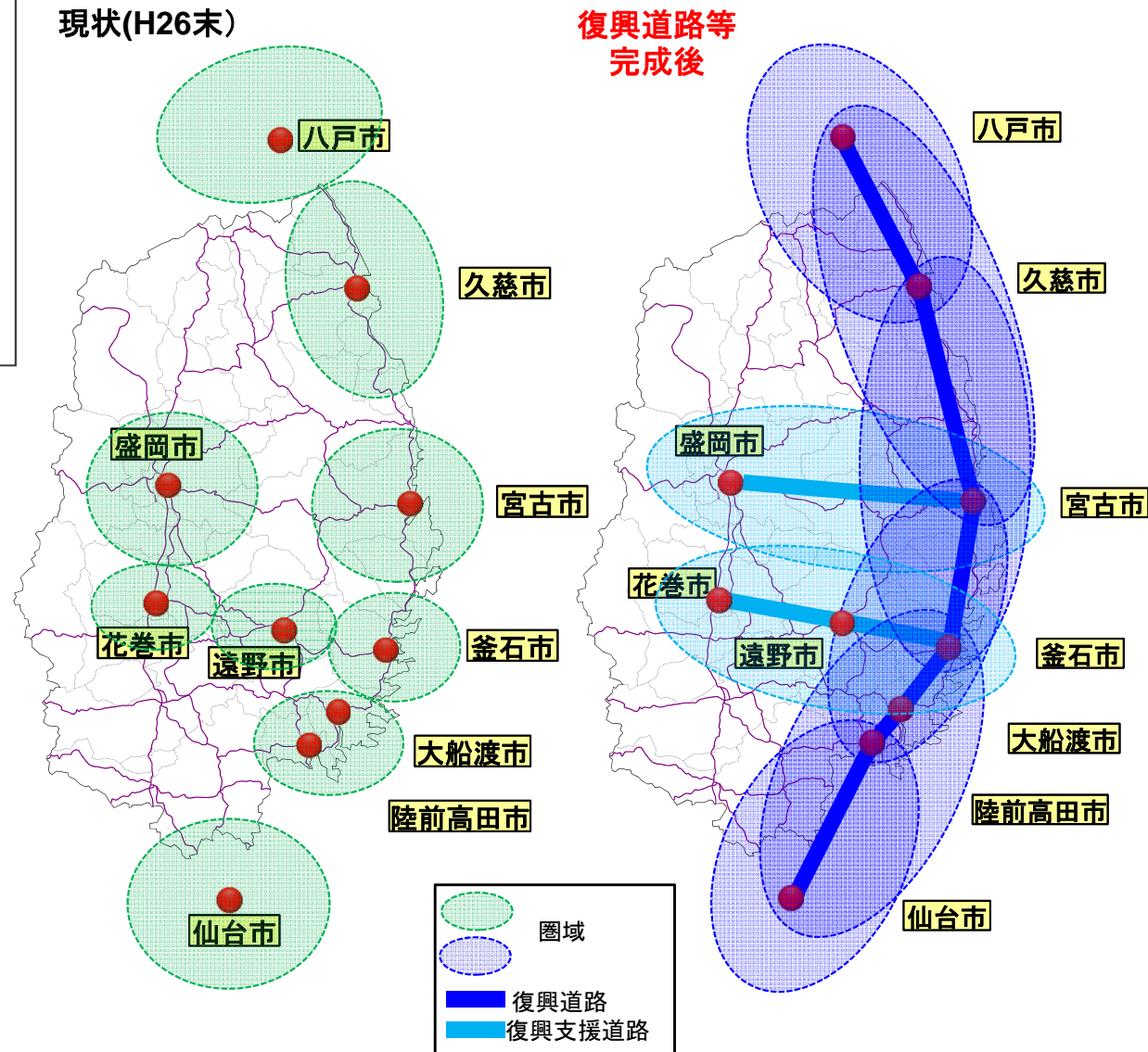
復興道路等の整備による圏域の拡大

- 岩手県の人口は今後30年で約3割減少の見込み。
- 高次の都市機能の維持には一定の人口規模が必要であり、ネットワークにより都市圏を拡大していくことが必要。(国土のグランドデザイン2050)
- 復興道路等の整備により、隣接する圏域が重なり合い、一体の圏域として機能できる可能性。
 - 通勤圏、通院圏、商圈等の拡大による交流人口の拡大
 - 二地域居住や介護のための休日移動など、新しい居住の仕組みが促進



出典:「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)(2013(H25).3.27公表(以下同))

【復興道路整備による圏域拡大のイメージ】



復興道路等の早期全線完成に向けて

H27. 5. 12 復興庁が記者発表

「集中復興期間の総括及び平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方」

- 復興道路・復興支援道路に自治体負担を導入する考え
- 自治体負担の程度は、被災団体の財政負担に十分配慮（ただし、負担割合は不明）



【復興道路等はそもそも・・・】

- 復興道路・復興支援道路は、国の復興のリーディングプロジェクトとして、概ね10年での全線供用を目標にスタート
- 県、市町村の復興計画にも復興事業として位置付けられ、復興全体の成否を左右するもの

【自治体の実情】

- 事業規模が大きく、自治体負担率がわずかでも、財政状況に与える影響は甚大
- 自治体負担の導入により、復興道路・復興支援道路の完成の遅れるだけでなく、復興事業全体の進捗が遅れる恐れ



- **復興道路を早期全線完成させるためには、平成28年度以降も、**
 - ・ **復興枠による別枠での確実な予算の確保**
 - ・ **自治体負担が生じないよう財政支援措置の継続** } **が不可欠**

広域連携大規模道の駅による復興道路の活用と地方創生①

久慈市

資料-7-1

地域課題

震災復興
人口減少
雇用創出

整備効果

- ①無料の高速道路
- ②移動時間の大幅な短縮
- ③冬場の雪が少なく路面の状況が良好
- ④仙台八戸間359キロを結ぶ高速道路が久慈広域を縦断

復興の加速
交通量が増加
交流人口が拡大



人口減少対策

久慈広域	2010年 総人口(人)	2040年総人口(人)	
	62,505	社人研推計 39,079	創生会議 34,772

久慈広域市町村が連携を図り人口減少に歯止めを掛ける必要がある

三陸復興国立公園の創設、みちのく潮風トレイル、三陸ジオパークに認定、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」、外国人観光客の増加

もぐらんぴあ
H12～H22の平均
65,000人



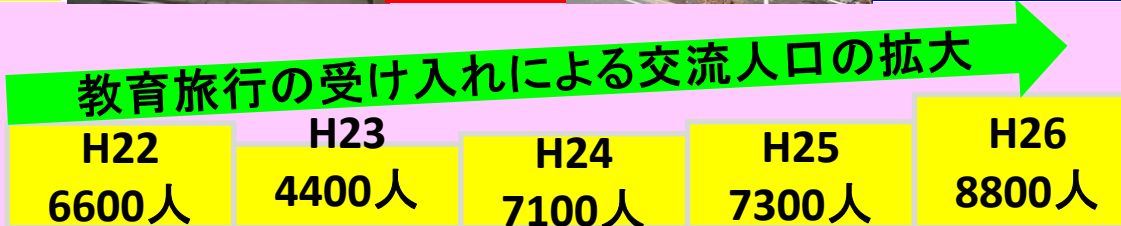
H23.3
全壊
0人



H27秋完成予定
H28春オープン

被災前に戻す

交流人口の拡大



6割が仙台方面からバスを利用

あまちゃん効果



海女センターを訪れた観光客数

年	H22	H23	H24	H25	H26
人数	8.9千人	4.5千人	4.9千人	20万人	10万人

あまちゃん効果の持続
(全壊の海女センターが今年4月にオープン)

震災復興・産業振興・観光・交流と復興道路の整備・道の駅をセットで地方創生



復興道路の全線開通により多様な
ビジネスチャンスが生まれる

三陸復興国立公園、三陸ジオパーク
みちのく潮風トレイル、あまちゃん

大規模道の駅

休憩施設、食事提供施設、産直・
特産品販売施設、大型駐車場など

復興道路の活用策
⇒ 全国から訪れる集客施設を整備

復興道路の完成による
交通量の増大を見据えた
地方創生の核となる
大規模道の駅の整備

整備
が遅れると

岩手日報 平成26年12月23日

14年(平成26年) 12月23日(火曜日) (4)

久慈広域大規模道の駅

4市町村で設置検討へ

三陸沿岸道路(仙台市八戸市、30.9km)の完成を契機、久慈広域4市町村が、大規模な道の駅設置を検討する。これに当たっては、4市町村が参加して22日に開かれた久慈広域行政研究会で、遠野市、久慈市長が「大きなものが利用者のメリットがある」と提案し、勉強会の設置を各市長が了承した。年明けにも担当者レベルでの話し合いを始める。

同研究会は広域的な「三陸沿岸道路完成フットが見込まれる。集客施設を整備する」を目的とし、八戸、久慈、遠野、大船渡の4市町村が参加し、道の駅設置のあり方について話し合った。道の駅設置は、道の駅設置のあり方について話し合った。道の駅設置は、道の駅設置のあり方について話し合った。

八戸方面

▲種差海岸

▲窓岩

▲小袖海岸

宮古方面

▲北限の海女

▲十府ヶ浦

▲黒崎

▲浄土ヶ浜

▲八戸三社大祭

▲大野海成段丘

▲久慈の琥珀

▲平庭高原

▲龍泉洞

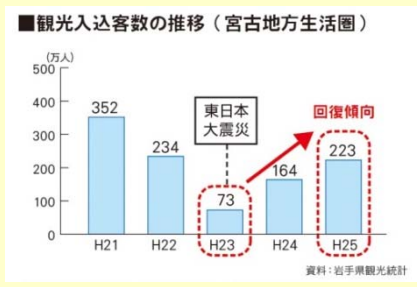
被災地の復興はもとより、復興道路の完成や交通量の増大を見据えた、企業の進出や地元企業ビジネスチャンスを逃し、地域課題の解決が遅れることから、復興道路整備が不可欠

復興道路・復興支援道路の整備が復興と地方創生を実現する！

復興道路・復興支援道路が岩手初のフェリー定期便を呼び込む

H27.3.10 川崎近海汽船(株)が復興道路整備を見越したフェリー定期航路計画を発表

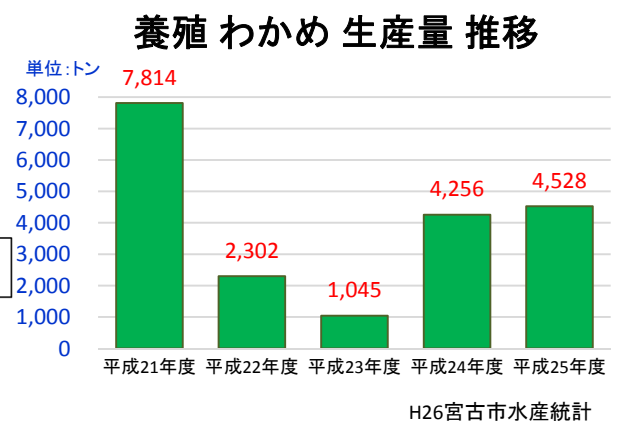
- 1日1往復の定期便であり、**三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路等の活用**によって仙台圏や首都圏、東北内陸に向けて、**安定的かつ効率的に荷物輸送が可能**。
- 東北内陸～三陸沿岸～北海道の新たな観光が想定され、震災により落ち込んだ観光入り込みの回復に期待。



物流の増加、交流人口の増加が、**復興を加速し、沿岸地域の活性化**につながる。



震災で大打撃を受けた水産業の復興・販路拡大・物流効率化のためにも復興道路は必要不可欠！



フェリー航路開設による物流・観光の活性化や、水産業をはじめとする産業振興のためには、復興道路・復興支援道路の整備が大前提であり、地方創生の実現に不可欠！

復興道路の活用

- 救急搬送時間・経路の短縮、安全性確保
- IC周辺への交流拠点（産直）の整備
- 産業集積地からの物流の円滑化、物流販路の拡大

○救急・災害時の搬送経路確保

経路の現状

- ・多くの浸水箇所を通る。
- ・市街地を通行することによる時間的損失が大きい

整備効果

- ・災害時や救急時に速やかな搬送が可能
- ・救急救命の向上や孤立解消

大槌町民にとって安心できる生活の実現に寄与する

○産直施設を整備（平成27年度整備）

- ・IC出入口付近へ整備により観光客等集客を見込める。

大槌町への新たな玄関口の活性化

- ・交流人口の増加により地域活性化を図り、来町者、住民、生産者との交流拠点へ発展。
(営農拠点として平成24年度復興交付金事業申請)

○誘致企業向け産業集積地を整備(平成28年度稼働)

水産加工企業の立地が進んでいる

- ・復興道路の開通による消費地への輸送の円滑化を見込む。
- ・復興道路の縦軸、横軸により、三陸の中央に位置する当町においては八戸、仙台等の大規模消費地へ同程度の時間での輸送が可能となり販路拡大に寄与する



平成30年度までを復興期間としており、今後、新しい町が形成されていくなかで災害、救急時の安全な移送搬送路の確立、産直施設や産業集積地の更なる活性化のためにも復興道路の早期完成が必要不可欠！！

- ☆ 平成27年3月、釜石市がRWC2019の開催都市に決定
- ☆ RWC開催により、地域の子どもたちに夢と希望を与え、復興を強力に後押し
- ☆ 国内外から頂いた御支援への感謝を伝え、復興の姿を発信する絶好の機会



●課題

- 釜石市のみでは、来訪者の宿泊に対応困難
- 大会成功のためには、三陸沿岸をはじめ県内各市町村との連携と円滑な輸送体制の確立が不可欠

- ・釜石市内の宿泊施設の定員は約1,200人
- ・RWC2019大会期間中、県内に延べ30万人が来訪予定

○スタジアムの概要(今後整備予定)

- 建設場所：釜石市鶴住居地区
- スタジアム収容人員：約16,000席



ラグビーワールドカップ2019を成功に導くためには、復興道路・復興支援道路の早期完成が必要不可欠！！

港、横断・縦貫道の結節点、産業・経済活性化へ早期全線整備を！

釜石市

資料-7-4

- ☆ 「釜石港」は、重要港湾として平成23年度内航フィーダーコンテナ航路が開設
- ☆ 釜石港と横断道・縦貫道の結節点としての条件から、企業立地が進み、釜石港のコンテナ取扱量も大幅増加
- ☆ **横断道・縦貫道の全線開通**により、釜石港と内陸部の一層の連携強化を図り、産業・経済を活性化

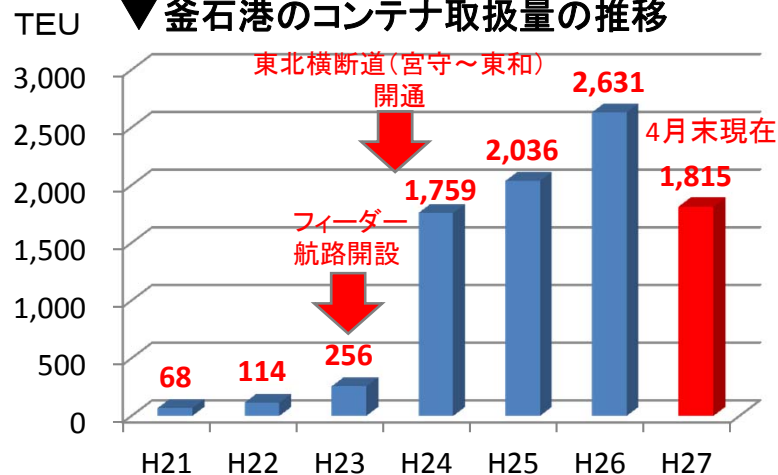
▼釜石港利用物流ルート



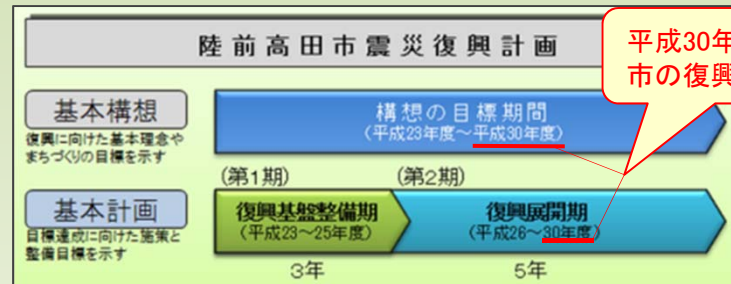
▼釜石市における近年の企業立地の状況

区分	企業名	立地協定
新規	(株)バイオ・パワー・ジャパン	H23年10月
増設	SMC(株)工場	H23年11月
新規	双日食料水産(株)	H24年2月
新規	釜石ヒカリフーズ(株)	H24年3月
新規	エア・ウォーター物流(株)	H24年12月
新規	トリナ・ソーラー社	H26年9月
増設	SMC(株)工場	H27年3月

▼釜石港のコンテナ取扱量の推移



- ・平成26年10月31日に高田松原津波復興祈念公園内に**国営追悼・祈念施設**の**整備が閣議決定**
- ・平成27年1月30日、**道の駅高田松原が重点道の駅に選定**
- ・奇跡の一本松や**両施設は、地域経済を活性化させる起爆剤**であり、国内外からの観光交流人口の増加を期待
- ・復興後の地域経済の活性化を図るためには、市の復興まちづくりと合わせた**国営追悼・祈念施設、道の駅の整備と、復興道路の早期整備が必要不可欠**



岩手日報 平成26年11月1日付 朝刊

岩手日報 平成27年1月31日付 朝刊

復興道路整備の遅れは、復興計画の遅延、また、観光誘客の減少に繋がり、震災から立ち上がろうとしている地域経済の活性化に影響を及ぼすことから、早期全線開通が必要